



国土交通省

中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

お知らせ

記者発表資料 配布日	平成23年12月26日
資料提供	広島市政記者クラブ 広島県政記者クラブ 合同庁舎記者クラブ 中国地方建設記者クラブ

根谷川における魚の大量死について（第4報）

平成23年12月22日（木）16時30分頃、根谷川（広島市安佐北区可部）において魚の大量死が確認されました。

詳細は別紙のとおり

<問い合わせ先>



太田川
シンボルマーク

国土交通省 中国地方整備局 太田川河川事務所

副所長(技)

【担当】 管理第一課長

082-222-9248（直通）

さとう ひでき
佐藤 秀樹
かしはら よしひこ
柏原 良彦

〒730-0013 広島市中区八丁堀3-20 電話：082-221-2436(代表)

ホームページURL：<http://www.cgr.mlit.go.jp/ootagawa/>



下線部は前回情報からの追加・変更箇所

12月26日10時00分時点

1. 事故発見日時

12月22日（木） 16時30分頃

2. 事故発見状況

- ・一般住民の方より、『広島市おしえてコールひろしま』へ魚の大量死に関する情報提供あり。
- ・16:00頃 安佐北区管理課経由にて国土交通省太田川河川事務所可部出張所へ第一報
- ・国土交通省太田川河川事務所可部出張所職員が現地確認実施

3. 事故発生箇所

河川名：根谷川 上原橋付近（安佐北区可部付近）

4. 事故発生原因

水質調査の結果、有害な物質は検出されませんでした。pHが高めの値になっていました。魚の斃死の原因調査を行いました。原因は特定できませんでした。広島県環境保健協会に確認したところ、上原橋でのpHが8.5～8.8であり、コイ、フナ等の生息に適用な範囲6.5～8.5を越えており、一時的に魚類に影響を生じた可能性があると考えられるとのことでした。pHが一時的に高くなった原因は特定されていません。

5. 水質事故の規模

内容：魚（オイカワ、カワムツ、カマツカ）の大量死（約3000匹程度）

規模：上原橋上下流30m程度、幅1m程度の範囲で魚が沈んでいる

6. 事故対策

- ・根谷川パトロールの結果

12月22日及び23日午前中に根谷川のパトロールを実施しましたが、新たな魚の斃死は確認されませんでした。（12/23午前中に昨日の取り残し分は回収）

- ・水質試験結果

12月22日（木）採水した根谷川3地点につきまして水質試験をしましたが、pH値が一時的に基準を超えていました。それ以外は問題になる値はありませんでした。（別添1, 2）12月23日にpH値の推移を確認するため、再度、3地点で水質分析を行い、全ての項目が基準値内となっていることを確認しました。（別添3）

- ・魚の斃死の原因調査結果

12月22日（木）に回収した魚の死骸を検視しましたが、死因は特定できませんでした。

7. 現地対策機関

国土交通省（12/22～23）、広島市水道局（12/22）、警察署（12/22）、広島市環境保全課（12/23）

8. 取水への影響

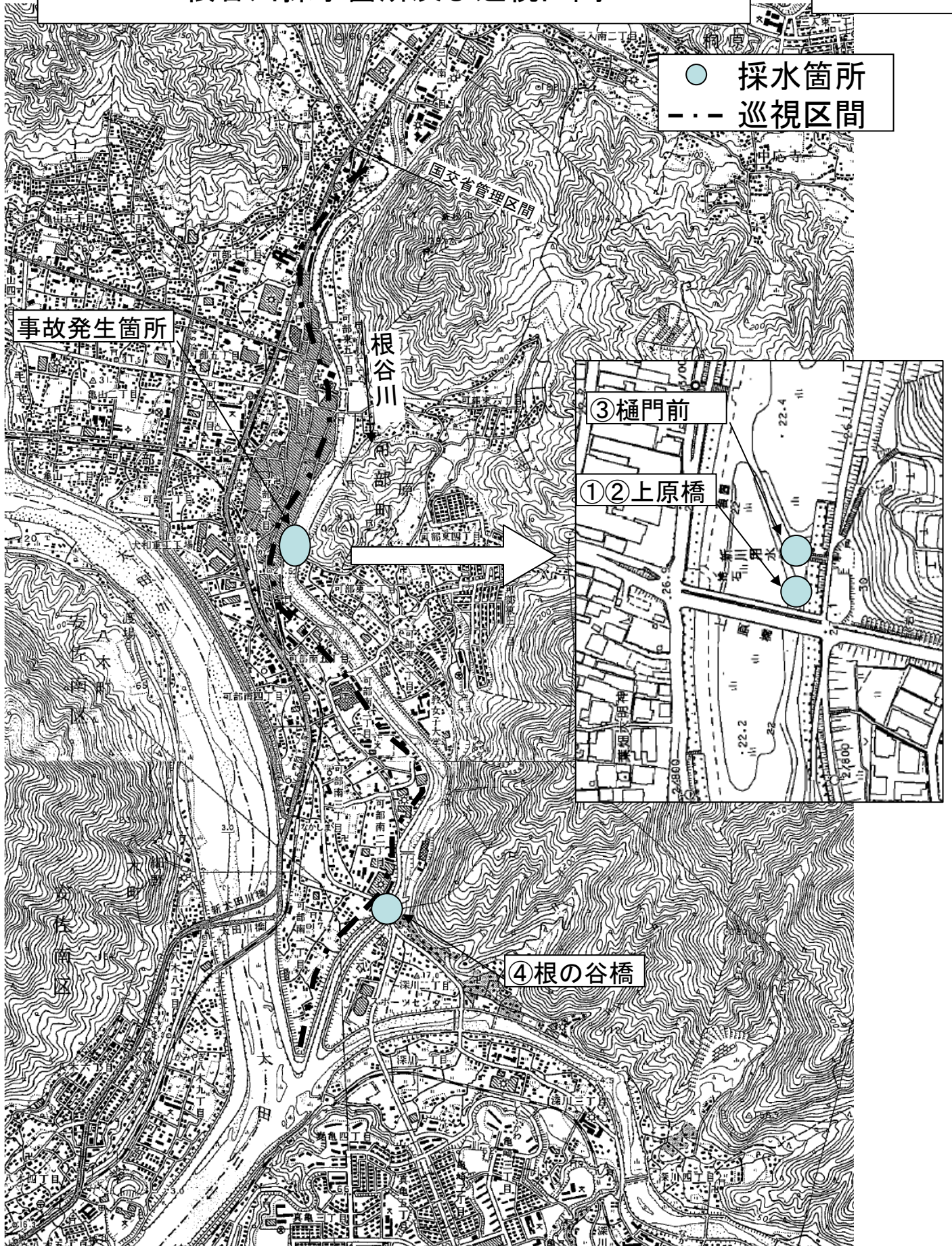
現時点で取水への影響は確認されていません。

9. 生態系への影響

根谷川パトロールの結果、現時点で周辺および下流域での生態系への影響は確認されていません。

根谷川採水箇所及び巡視区間

別添1



平成23年12月22日採水結果

項目	環境基準 (B類型)	定量下限値	単位	測定地点				備考		
				①上原橋	②上原橋	③樋門前	④根の谷橋			
	採水月日		月・日	12.22	12.22	12.22	12.22			
A1	採水時刻		時：分	16:30	19:13	19:02	19:35			
A2	採水位置		—	左岸	左岸	左岸				
A3	天候		—	晴	晴	晴	晴			
A6	全水深		m	0.5	0.1	0.3	0.8			
A7	採水水深		m	表面	表面	0.1	0.2			
A8	気温		℃	—	5.0	5.0	3.2			
A9	水温		℃	—	8.2	8.8	9.8			
A10	外観		—	—	淡黄白濁	淡黄白濁	淡黄緑透			
A14	臭気		—	—	弱はまぐり臭	無臭	無臭			
A15	透視度		cm	—	61	76	100<			
生活環境項目	B1	pH	6.5以上8.5以下	—	—	8.8	8.5	7.9	7.4	コイ、フナ等の生息に適用な範囲は、6.5～8.5であり、①②上原橋地点は魚類に影響が生じる値であります。
	B3	COD	—	0.1	mg/L	1.7	7.5	2.8	2.2	コイ、フナ等の生息に適用な範囲は、5mg/L以下であります。 ②上原橋は、透視度が61であり懸濁しているためその影響と思われる。
	B5	DO	5.0mg/L以上	0.1	mg/L	12.4	12.0	11.1	11.0	コイ、フナ等の生息に適用な範囲は、5mg/L以上であり魚類に影響がない濃度範囲です。
健康項目	C1	カドミウム	0.003mg/L以下	0.0005	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	重金属類
	C2	(全)シアン	検出されないこと	0.01	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
	C3	鉛	0.01mg/L以下	0.001	mg/L	<0.001	0.004	0.001	0.001	重金属類。 自然な河川の濃度は、0.001～0.01mg/L含まれており、問題のない値です。
	C4	6価クロム	0.05mg/L以下	0.002	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	重金属類
	C5	ヒ素	0.01mg/L以下	0.001	mg/L	0.001	0.002	0.002	<0.001	重金属類。 測定結果が高い値でも環境基準値の約10分の2であり問題のない値です。
	C6	総水銀	0.0005mg/L以下	0.0001	mg/L	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	重金属類
	C8	PCB	検出されないこと	0.0005	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	
	C9	ジクロロメタン	0.02mg/L以下	0.0002	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	揮発性の物質
	C10	四塩化炭素	0.002mg/L以下	0.0002	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	揮発性の物質
	C11	1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L以下	0.0002	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	揮発性の物質
	C12	1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/L以下	0.0002	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	揮発性の物質
	C13	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	0.0002	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	揮発性の物質
	C14	1,1,1-トリクロロエタン	1mg/L以下	0.0002	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	揮発性の物質
	C15	1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/L以下	0.0002	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	揮発性の物質
	C16	トリクロロエチレン	0.03mg/L以下	0.0002	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	揮発性の物質
	C17	テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下	0.0002	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	揮発性の物質
	C18	1,3-ジクロロプロペン (D-D)	0.002mg/L以下	0.0002	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	農薬 (殺虫剤)
	C19	チウラム	0.006mg/L以下	0.0006	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	農薬 (殺菌剤)
	C20	シマジン (CAT)	0.003mg/L以下	0.0002	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	農薬 (除草剤)
	C21	チオベンカルブ (ベンチオカーブ)	0.02mg/L以下	0.0001	mg/L	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	農薬 (除草剤)
	C22	ベンゼン	0.01mg/L以下	0.0002	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	揮発性の物質
	C23	セレン	0.01mg/L以下	0.001	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	重金属類
	C24	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/L以下	0.01	mg/L	0.96	0.95	0.98	0.45	測定結果が高い値でも環境基準値の約10分の1であり問題のない値です。
C25	ふっ素	0.8mg/L以下	0.08	mg/L	0.14	0.15	0.14	<0.08	測定結果が高い値でも環境基準値の約10分の2であり問題のない値です。	
C26	ほう素	1mg/L以下	0.02	mg/L	0.03	0.03	0.03	<0.02	測定結果が高い値でも環境基準値の10分の1以下であり問題のない値です。	
J69	1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下	0.005	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	揮発性の物質	
富栄養化関連項目	E1	アンモニウム態窒素	—	0.01	mg/L	0.01	0.02	<0.01	0.01	
地質環境その他項目	X2	導電率	—	mS/m	14.7	15.0	15.6	7.6	水が電流を伝導する値を示しており、河川の平均的な値は12mS/m程度であり問題のない値です。	

平成23年12月23日採水結果
事務所名 太田川河川事務所

項目	地点名		環境基準 (B類型)	定量下限値	単位	①上原橋	②上原橋	③樋門前	④根の谷橋	備考
	項目	環境基準 (B類型)								
	採水月日				月・日		12.23	12.23	12.23	
A1	採水時刻				時：分		10:09	9:53	10:49	
A2	採水位置				—		左岸	左岸	流心	
A3	天候				—		曇	曇	雨	
A6	全水深				m		0.1	0.3	0.3	
A7	採水水深				m		表面	0.1	0.1	
A8	気温				℃		9.6	9.0	9.8	
A9	水温				℃		8.0	8.4	9.0	
A10	外観				—		淡白色濁	淡緑色透	淡緑色透	
A14	臭気				—		弱魚臭	無臭	無臭	
A15	透視度				cm		86	100<	100<	
B1	pH	6.5以上8.5以下	—	—	—		7.7	7.8	8.2	コイ、フナ等の生息に適用な範囲は、6.5～8.5であり、②上原橋地点は7.7と影響のない値であります。
B3	COD	—	0.1	mg/L	—		2.1	1.6	1.2	コイ、フナ等の生息に適用な範囲は、5 mg/L以下であり、各地点において影響のない値であります。
B5	DO	5.0mg/L以上	0.1	mg/L	—		12.5	13.2	13.8	コイ、フナ等の生息に適用な範囲は、5 mg/L以上であり魚類に影響がない濃度範囲です。
C1	カドミウム	0.003mg/L以下	0.0005	mg/L	—		<0.0005	<0.0005	<0.0005	重金属類
C2	(全)シアン	検出されないこと	0.01	mg/L	—		<0.01	<0.01	<0.01	
C3	鉛	0.01mg/L以下	0.001	mg/L	—		<0.001	<0.001	<0.001	重金属類
C4	6価クロム	0.05mg/L以下	0.002	mg/L	—		<0.002	<0.002	<0.002	重金属類
C5	ヒ素	0.01mg/L以下	0.001	mg/L	—		0.001	0.001	0.001	重金属類。 測定結果が高い値でも環境基準値の約10分の2であり問題のない値です。
C6	総水銀	0.0005mg/L以下	0.0001	mg/L	—		<0.0001	<0.0001	<0.0001	重金属類
C8	P C B	検出されないこと	0.0005	mg/L	—		<0.0005	<0.0005	<0.0005	
C9	ジクロロメタン	0.02mg/L以下	0.0002	mg/L	—		<0.0002	<0.0002	<0.0002	揮発性の物質
C10	四塩化炭素	0.002mg/L以下	0.0002	mg/L	—		<0.0002	<0.0002	<0.0002	揮発性の物質
C11	1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L以下	0.0002	mg/L	—		<0.0002	<0.0002	<0.0002	揮発性の物質
C12	1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/L以下	0.0002	mg/L	—		<0.0002	<0.0002	<0.0002	揮発性の物質
C13	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	0.0002	mg/L	—		<0.0002	<0.0002	<0.0002	揮発性の物質
C14	1,1,1-トリクロロエタン	1mg/L以下	0.0002	mg/L	—		<0.0002	<0.0002	<0.0002	揮発性の物質
C15	1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/L以下	0.0002	mg/L	—		<0.0002	<0.0002	<0.0002	揮発性の物質
C16	トリクロロエチレン	0.03mg/L以下	0.0002	mg/L	—		<0.0002	<0.0002	<0.0002	揮発性の物質
C17	テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下	0.0002	mg/L	—		<0.0002	<0.0002	<0.0002	揮発性の物質
C18	1,3-ジクロロプロペン (D-D)	0.002mg/L以下	0.0002	mg/L	—		<0.0002	<0.0002	<0.0002	農薬 (殺虫剤)
C19	チウラム	0.006mg/L以下	0.0006	mg/L	—		<0.0006	<0.0006	<0.0006	農薬 (殺菌剤)
C20	シマジン (CAT)	0.003mg/L以下	0.0002	mg/L	—		<0.0002	<0.0002	<0.0002	農薬 (除草剤)
C21	チオベンカルブ(バンチオカーブ)	0.02mg/L以下	0.0001	mg/L	—		<0.0001	<0.0001	<0.0001	農薬 (除草剤)
C22	ベンゼン	0.01mg/L以下	0.0002	mg/L	—		<0.0002	<0.0002	<0.0002	揮発性の物質
C23	セレン	0.01mg/L以下	0.001	mg/L	—		<0.001	<0.001	<0.001	重金属類
C24	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/L以下	0.01	mg/L	—		1.04	1.02	0.99	測定結果が高い値でも環境基準値の約10分の1であり問題のない値です。
C25	ふっ素	0.8mg/L以下	0.08	mg/L	—		0.14	0.14	0.14	測定結果が高い値でも環境基準値の約10分の2であり問題のない値です。
C26	ほう素	1mg/L以下	0.02	mg/L	—		0.03	0.03	0.03	測定結果が高い値でも環境基準値の10分の1以下であり問題のない値です。
J69	1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下	0.005	mg/L	—		<0.005	<0.005	<0.005	揮発性の物質
E1	アンモニウム態窒素		0.01	mg/L	—		0.02	<0.01	<0.01	
X2	導電率		—	mS/m	—		15.1	15.1	14.8	水が電流を伝導する値を示しており、河川の平均的な値は12 mS/m程度であり問題のない値です。